



手塚治虫

友達の助言を生かして、
さらに自分の考えが伝わる
読書感想文にしよう

感想文の工夫点

- ・ 引用（心に残った言葉）
- ・ 心に残る出来事について自分だったらどうするか
- ・ 自分と結び付けて生き方を考える
- ・ 三段落構成

アドバイス

- ・ 「自分がどう思うか」
- ・ じよ述を根きよに読み取った内容
- ・ 読もうと思った動機

振り返り

1 指導内容（新学習指導要領解説編から）

小学校国語科編より
文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えるようにすること。

2 本時のねらい

読書感想文の構成や書き表し方に着目し、互いに読み合うことを通して、読書感想文を書き直す。

3 「深い学び」の鍵となる「見方・考え方」を動かせるための発問の意図

引 【「見方・考え方」を引き出す発問】
更に自分の考えが伝わる読書感想文にするために、読書感想文の工夫点を想起できるようにする。

鍛 【「見方・考え方」を鍛える発問】
交流での助言を生かし、「自分の考えが伝わる読書感想文にするためにはどう直すか」を再考できるようにする。


4 「主体的な学び」・「対話的な学び」の重点

【対話的な学び】

読書感想文の工夫点を基に、互いの読書感想文を読み自分だけでは気付かなかった自分の文章に必要なことは何かに気付くことができるようにする。そして、自分の文章を見詰め直し、自己との対話を通して、どのように文章を整えるかを考えられるようにする。

5 学習過程

段階	主な学習活動と予想される児童の反応	・指導上の留意点 口評価の観点【評価方法】
導入 5分	<p>1 本時のめあてを知る</p> <p>T</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>引 どのような点に気を付けて読み、助言し合えば、考えが伝わる読書感想文になるでしょう。 [引①④]</p> </div> <p>C 1 工夫点で勉強したように、心に残った言葉を引用していることが大切です。</p> <p>C 2 心に残った出来事とその出来事に自分が遭遇したらどうするかについて書いているかです。</p> <p>C 3 これからの自分の生き方について書いているかどうかです。</p> <p>C 4 3段落構成で書くことです。</p>	<p>・助言を付箋に書く時に参考にできるように板書する。</p> <p>・助言の具体が見えたところで、めあてを提示し、読書感想文を読み合う目的を確認する。</p>

	<p>〈めあて〉 友達の助言を生かして、更に自分の考えが伝わる読書感想文にしよう</p>	
<p>展開 30分</p>	<p>2 グループごとに読書感想文を読み合う</p> <p>T グループで読み合い、更に良い読書感想文になるように、助言し合ひましょう。</p> <p>C 5 感想文の工夫点にある「自分と結び付けて、人物の生き方をどう思うか」について、自分の生活を振り返って書いているのがいいね。でも、本の中のどこの叙述が根拠になっているのだろう。もう少し、伝記の人物の生き方を詳しく知りたいな。</p> <p>C 6 なるほど。C5さんは、本文が引用されていたり影響を与えた出来事について詳しく書かれていたりするよね。そこに、「もし、自分がその出事事の場面にいたら」のように、自分の気持ちが書かれているといいと思うよ。</p> <p>C 7 題名が伝記の人物の名前だけになっているから、前に勉強したように、人物の生き方を一言で表してみたらいいんじゃないかな。それを題名にしてみたらどうだろう。</p> <p>C 8 そうだね。C7さんは、「どうしてその伝記を選んだのか」が書かれていると、いいなと思うよ。</p> <p>3 アドバイスを基に、清書する</p> <p>T  自分の読み取った考えが伝わる読書感想文にするためには、どのように文や文章を整えますか。(友達の付箋を基に、読書感想文を書き直しましょう。) 【鍛①④】</p> <p>C 5 本文を引用し過ぎた。人物の生き方について「自分がどう思か」を考えて、メモにまとめてみよう。</p> <p>C 6 自分の気持ちばかり書いていたから、叙述を根拠に、人物の生き方をどのように読み取ったかも書こう。もう一回印象に残った叙述を見返さないと。</p> <p>C 7 友達との関係で落ち込んでいたときにお母さんが薦めてくれた本だから、それを書けば同じ悩みの人が読んでくれるかもしれない。</p> <p>C 8 人物の生き方を一言で表し、題名にしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 良い点、工夫している点は、ピンクの付箋に、改善すると良い点は水色の付箋に書き、友達の読書感想文に貼る。その後で、付箋を見ながら、友達に助言するように指示する。 • 机間指導をし、観点に沿った的確な助言を取り上げ、全体で共有する。 <p>書く能力</p> <p>読書感想文の構成や書き表し方等の工夫点を生かして書きたいことをまとめ、助言を基に自分の考えを再構築して読書感想文を書いている。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ノート】</p>
<p>終末 10分</p>	<p>4 本時の学習を振り返る</p> <p>T 友達からの助言を生かして、更に自分の考えが伝わる読書感想文になりましたか。振り返って感想を書きましょう。</p> <p>C 9 「心に残った出来事」を書くことはできたけれど、自分だったらどうするかがあるといい、という助言で、自分と結び付けて書くことができました。</p> <p>C 10 引用をする際にかぎ「 」を付けるといい、という助言で書き直すことができました。引用の理由を尋ねてくれたおかげで、なぜこの言葉が心に残ったのかをもう一度考えることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 振り返りとして、友達の助言を参考にし、読書感想文を推敲したことについてまとめる。